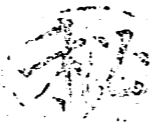


大正八年八月八日 修正決議 會議議案

委員會修正案八直

本案之朱書記入

樞密院書記官



朝鮮總督府警察官署官制廢止件 参照添附

勅令第 號

朝鮮總督府警察官署官制ハ之ヲ廢止ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ朝鮮總督府警務總監  
部ニ在勤スル朝鮮總督府警視ハ本令施  
行ノ際ニ限リ朝鮮總督府事務官ニ特ニ

之ヲ任用スルコトヲ得但シ明治四十三  
年勅令第三百二號第三項ノ規定ニ依リ  
任用セラレタル朝鮮總督府警視ニ付テ  
ハ此ノ限ニ在ラス

本令施行ノ際朝鮮總督府警視又ハ朝鮮  
總督府警部ニシテ現ニ其ノ職ニ在ル者  
ハ本令施行ノ際ニ限リ朝鮮總督府警視

ハ朝鮮總督府事務官又ハ朝鮮總督府道  
警視ニ朝鮮總督府警部ハ朝鮮總督府道  
警部ニ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

明治四十三年勅令第三百二號中朝鮮總  
督府警視ヲ朝鮮總督府道警視ニ文官高等  
試験委員ヲ高等試験委員ニ朝鮮總督府  
警部ノ任用ヲ朝鮮總督府道警部ノ任用

二「憲兵」長タル將官、憲兵將校ハ朝鮮總督府警務總長、警務部長又ハ警視ヲ「憲兵將校」朝鮮總督府道警視ニ、朝鮮總督府警部ニ「朝鮮總督府道警部」又ハ朝鮮總督府道警部補ニ改メ同令第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ第四項ヲ削ル

朝鮮總督府道警部補ハ朝鮮總督府道

朝鮮警三

警部タルコトヲ得ル者ヨリ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

朝鮮總督府地方廳職員特別任用令中「朝鮮總督府警視」ヲ「朝鮮總督府道警視」ニ改

大正二年勅令第十九號中「憲兵准士官」下「朝鮮總督府道警部」朝鮮總督府道警

部補「同上等兵」朝鮮總督府道巡查  
警務、勤務、警察官、勤務ニ改ム

參照

○朝鮮總督府警察官署官制 明治四十三年六月勅令第百九十六號

第一條 朝鮮總督府警察官署ハ朝鮮總督ノ管

理ニ屬シ朝鮮ニ於ケル警察及衛生ノ事務ヲ

掌ル

第二條 朝鮮總督府警察官署ハ警務總監部警

務部及警察署トス

第三條 警務總監部ハ之ヲ京城ニ置シ朝鮮ニ

於ケル警察及衛生ノ事務ヲ總理ス

第四條 警務部ハ之ヲ各道ニ置シ道内ハ警察

及衛生ノ事務並管内警察署ノ監督ヲ掌ル  
 警察署ハ必要ノ地ニ之ヲ置ク管内ノ警察及  
 衛生ノ事務ヲ掌ル  
 警務部及警察署ノ位置及管轄區域ハ朝鮮總  
 督之ヲ定ム

第五條 朝鮮總督府警察官署ニ左ノ職員ヲ置

警務總長

勅任

警務官

專任

三人

奏任

中一人ヲ勅任ト  
 為ストナリ

警務部長

奏任

警視

專任

三十五人

奏任

警察署長

專任

四人

奏任

通譯官

專任

四人

奏任

技師

專任

一人

奏任

港務官

專任

一人

奏任

獸醫官

專任

一人

奏任

警部

警部

警務官補

專任

三百六十七人

判任

警務官補

技手

通譯生

第六條 警務總長ハ朝鮮駐劄憲兵ノ長トシテ陸

軍將官ヲ以テ之ニ充ツ

警務總長ハ警務總監部ノ長トシテ朝鮮總督

ノ命ヲ奉ケテ部務ヲ總理シ警察官署ノ職員ヲ

指揮監督ス

第七條 警務官ハ上官ノ命ヲ奉ケテ部務ヲ掌

第八條 警務部長ハ各道憲兵ノ長トシテ憲兵

官ヲ以テ之ニ充ツ警務總長ノ命ヲ奉ケテ部務

ヲ掌理シ部下ノ職員及管内警察署ノ職員ヲ

指揮監督ス

警務部長ハ道長官ノ命ニ依リ道行政ヲ執行

ヲ助ケ又ハ地方ノ警察及衛生ノ事務ニ関シ

道長官ノ命ヲ奉ケテ必要ナル命令ヲ發シ又ハ

處分ヲ為スル

第九條 警務總長及警務部長ハ各其ノ職權又

ハ委任ノ範圍内ニ於テ命令ヲ發スルコトヲ

得

警務部長前項ノ命令ヲ發セムトスルニ  
道長官ノ承認ヲ受クヘシ

第十條 警察署長ハ警視又ハ警部ヲ以テ之ニ  
充ツ上官ノ命ヲ承テ署務ヲ掌理シ部下ノ職  
員ヲ指揮監督ス

第十一條 警視ハ上官ノ命ヲ承テ警察及衛生  
ノ事務ヲ掌リ部下ノ職員ヲ指揮監督ス

第十二條 通譯官ハ上官ノ命ヲ承テ翻譯及通  
譯ヲ掌ル

第十三條 技師ハ上官ノ命ヲ承テ技術ヲ掌ル

第十四條 港務官ハ上官ノ命ヲ承テ船港及港  
則ノ執行及海港檢疫ニ関スル事務ヲ掌ル

第十四條ノ二 港務醫官ハ上官ノ命ヲ承テ港  
港檢疫及醫務ヲ掌ル

第十四條ノ三 獸醫官ハ上官ノ命ヲ承テ獸畜  
ニ関スル檢疫検査及醫務ヲ掌ル

第十五條 属ハ上官ノ指揮ヲ承テ庶務ニ從事

又  
警部ハ上官ノ指揮ヲ承テ警察及衛生ノ事務



二 後事ニ部下ノ職員ヲ指揮監督ス  
港吏ハ上官ノ指揮ヲ兼テ開港ノ港則ノ執行  
及海港檢疫ニ従事ス  
港務醫官補ハ上官ノ指揮ヲ兼テ海港檢疫及  
醫務ニ従事ス  
獸醫官補ハ上官ノ指揮ヲ兼テ獸畜ニ関スル  
檢疫、検査及醫務ニ従事ス  
技手ハ上官ノ指揮ヲ兼テ技術ニ従事ス  
通譯生ハ上官ノ指揮ヲ兼テ翻譯及通譯ニ従  
事ス

朝鮮 六

第十六條 警察官署ニ巡查及巡查補ヲ置ク  
巡查ハ判任官ノ待遇トシ巡查補ノ取扱ハ憲兵  
補助員ニ準ス  
巡查及巡查補ニ関スル規定ハ朝鮮總督之ヲ  
定ム

參照

○明治四十三年勅令第三百二號

朝鮮總督府警視ハ五年以上警察事務ニ從事シ  
判任官五級俸以上ノ職ニ在ル者ノ中ヨリ文官高等  
試験委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用スルコト  
ヲ得

朝鮮總督府警部ノ任用ニ関シテハ警部消防士  
特別任用令ヲ準用ス但シ考試委員考査ノ方法  
及試験ノ科目ハ朝鮮總督之ヲ定ム  
朝鮮ニ在勤スル憲兵ノ長タル將官ニ兵將校ハ

朝鮮總督府警務總長及警務部長又ハ警視ニ憲兵  
准士官下士ハ朝鮮總督府警部ニ特ニ之ヲ任用  
スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ任用セラレタル者朝鮮ニ於  
ケル憲兵ノ勤務ナキニ至リタルトキハ當然其  
ノ官ヲ免セラレタルモノトス

(附則略)

○朝鮮總督府地方廳職負特別任

大正四年一月  
勅令第七十五號

第三條 朝鮮總督府島司ハ之ヲ朝鮮總督府

視ニ朝鮮總督府警視ハ之ヲ朝鮮總督府島司  
ニ兼任セシムルコトヲ得

○大正二年勅令第十九號

國境ニ於ケル朝鮮總督府税関出張所所在地ニ  
在勤スル憲兵准士官下士ハ朝鮮總督府税関監  
視ニ同上等兵ハ朝鮮總督府税関監吏ニ之ヲ任  
用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ任用セラレタル者其ノ税関

出張所所在地ニ於ケル憲兵ノ勤務ナキニ至リ  
タルトキハ其ノ官ヲ免セラレタルモノナリ

大正八年八月八日 修正決議 會議議案

委員會修正案八直ニ

本案ニ朱書記入ス

樞密院書記官

秘

臺灣總督府官制中改正ノ件